

Yumeken

夢けんせつ
DREAM CONSTRUCTORS

春

2014 Vol.656

◆特集〇話題の焦点

防災展示・体験施設レポート 改めて防災について考える

◆夢インタビュー

地域とともに歩み滋賀を元気にするチームを目指して

◆行ってみよう

ノルディック・ウォークで大文字山トレッキング

◆おじゃまします

丸橋建設株式会社



防災展示・体験施設レポート —改めて防災について考える

地震や火災、風水害など、いつ起こるか分からない災害にどう備えるか、今、市民一人ひとりの取り組みの大切さが問われています。滋賀県建設業協会広報委員会のメンバーは、京都市南区の「京都市市民防災センター」と大津市にある水のめぐみ館「アクア琵琶」を訪ねて、災害や防災に関する展示や体験プログラムをレポートしました。



避難体験コーナー
体験の前に避難の際の注意点などの説明がありました。



消火体験コーナー
火災を再現したモニターを使った消火訓練



京都市市民防災センター

京都市南区西九条菅田町7番地
☎ 075-662-1849
9:00~17:00 月曜日、第2火曜日、年末年始休館
入館無料
http://web.kyoto-inet.or.jp/org/bousai_s/

避難体験コーナー

オリエンテーションの後、ホテル火災を再現した避難体験室へ。実際の火災では、煙を吸って一酸化炭素中毒で亡くなるケースが多く、避難の際に煙を吸わないことがポイントになるといった説明を受けてから、2チームに分かれてチャレンジ。人体に影響のない特殊な煙が立ちこめる中、姿勢を低くして、誘導灯を頼りに非常口まで進みました。煙で視界が悪いうえ、迷路のような仕切り壁にはまかれて、なかなか出口にたどり着けませんでした。

消火体験コーナー

続いて消火訓練室では、消火器の特徴や扱い方について説明を受けた後、初期消火を体験しました。消火器の噴射時間はとても短く（粉末ABC消火器1・2kgで約15秒）、火元の2〜3メートル手前まで近づいて噴射し、天井に火がまわったら消火を断念して避難することなどを説明していただきました。

湖国 街かどウォッチング



琵琶湖側に大きな窓を設けたフードコート

展望デッキ

デッキからの眺望

「パヴァリエびわ湖大津」(大津市)



従来のサビエリアにはなかった新たな魅力をプラスした施設として、2013年4月18日にリニューアルオープンした下り線の「パヴァリエびわ湖大津」。NEXXO西日本では、ナショナルブランドや地域有名店などの入った複合型商業施設として、休憩だけでなくショッピングや食事を楽しめる。パヴァリエや、地域の特産物や地域情報の発信を強く打ち出した施設、もてなしをテーマにしたパキングエリアなどの整備を進めています。

ながら食事ができる開放的な空間になっています。また、3階には美しい山並みや琵琶湖の魅力を満喫できる展望デッキが設けられていて、1階で販売している石山寺の絵馬が掛けられる「絵馬掛けツリー」や「恋人の聖地」のモニュメントなどが設置されています。

1階の物販ゾーンは、ナチュラルダイニングテラスをコンセプトに、床や天井には水や石をイメージしたデザインを採用、木や石などの自然素材を多く用いた内装を施したほか、直線的に什器を配置するのではなく、緩やかに曲線を描く通路に沿って、自然に店内の奥深くまで足を運べるように動線を工夫しています。

滋賀の名店や全国的に人気のあるブランド、近江牛をメインにした地産地消レストランなど14店舗のグルメ&ショップが入り、ここでしか買えない商品やメニューも充実しています。

また、インフォメーションコーナーやお休み処のほか、小さな子ども連れで訪れる人にも配慮して、授乳室やおむつ交換台などのあるベビーコーナーは、ゆったりとした広さが確保されています。



ゆったりしたベビーコーナー



地産地消レストラン「グリル逢味」



木や石を使った1階の物販ゾーン

大津市朝日が丘2-8-1
グルメ・ショッピング ☎077-510-0808
(近畿日本鉄道株式会社)
インフォメーション ☎077-510-7350
レストランやフードコート、ショッピングコートは店舗によって営業時間が異なるため、以下のサイトでご確認ください。
<http://www.w-holdings.co.jp/sapa/2028.html>

CONTENTS

湖国街かどウォッチング……………	2
「パヴァリエびわ湖大津」……………	2
特集・話題の焦点……………	3
防災展示・体験施設レポート 改めて防災について考える……………	3
夢インタビュー……………	6
地域とともに歩み滋賀を 元気にするチームを目指して 株式会社エス・スポーツ 権田五仁さん……………	6
ビジネス最前線……………	7
株式会社みらいもりやま21 行ってみよう……………	8
ノルディック・ウォークで 大文字山トレッキング……………	8
ここが知りたいものづくり……………	10
コンクリートのおはなし2……………	10
おじゃまします……………	12
丸橋建設株式会社……………	12
絵画コンクール入賞作品……………	14
元気いただきます……………	16
「仕事の達人・遊びの達人」……………	17
萩原 英樹……………	17
バスル……………	18
近江つまいもの紀行……………	18
夢けんひろば……………	19
読者の声……………	19
編集後記……………	19
表紙写真……………	19
「ミクロンの闘い」黒田 敏夫……………	19
「仕上げ日和」岡田 健司……………	19
「夏のゆり園」岡本 聖……………	19
「金亀の酒蔵と町並み」中原 文雄……………	19
「新緑の中に」奥居 由紀夫……………	19
「壁のお化粧」城田 祥男……………	19



瀬田川洗堰の機能について説明を受けるメンバー



写真/びわこビジターズビューロー

水のめぐみ館「アクア琵琶」

滋賀県大津市黒津4-2-2
☎ 077-546-7348
9:30~16:30 (入館は16:00まで)
土日祝日は不定休、年末年始休館
入館無料
<http://www.aquabiwa.jp/>

写真/びわこビジターズビューロー



次第に強くなる豪雨を体験

世界最大の豪雨を体験

10月16日から15日まで
の非洪水期は、BSL(琵琶湖基準水位II大阪湾の平均潮位+85・6mの高さ)+0.3mという高い水位が保たれていますが、6月16日から8月31日まではBSLマイナス0.2m、9月1日から10月15日は台風などの降雨に備えるため、BSL.O・3mまで下げてい

最後に屋外の「雨たいけん室」で、1時間に600mmという世界最大の豪雨を体験しました。第1段階は梅雨時に経験する1時間に5mmの雨、第2段階は大阪で2年に1度くらい降る1時間に35mmの雨、第3段階は昭和57年に長崎県で観測された国内最大187mmの豪雨、最後は世界一の豪雨。傘に受ける衝撃の大きさや会話もできないほどの雨音に、時に大きな災害を引き起こす豪雨の恐ろしさを実感しました。

昭和36年に瀬田川改修計画の一環として完成した瀬田川洗堰新洗堰は、琵琶湖河川事務所によって管理され、瀬田川への流量を調節することで、洪水対策と渇水対策の両方をカバーしています。

琵琶湖周辺地域の洪水を防ぐためには、唯一の出口である瀬田川を浚渫して水の流れを良くすることが最も効果的であるため、古くから川ざらえなどが行われてきました。明治時代には、瀬田川に飛び出していた大日山が切り取られて大幅に流量が増し、下流の淀川に流れ込む水量を調節するため、南郷洗堰(旧洗堰)が建設されました。

治水や利水について学ぶ水のめぐみ館

国土交通省琵琶湖河川事務所が管理

する水のめぐみ館「アクア琵琶」は、琵琶湖の治水や水利の歴史、水環境、瀬田川洗堰の役割、瀬田川の砂防などについて展示やゲームを通じて学べる施設です。

昨年の台風18号の豪雨では、下流の天ヶ瀬ダムでの流入量が、洪水調節を行う基準である毎秒840m³を超えたことから、下流域を守るため41年ぶりにすべてのゲートを閉める「全閉操作」が行われました。その後、淀川の流量が減り始めてから琵琶湖の水位を元に戻すため、最大毎秒約800m³を放流する「全開操作」が約2週間行われたそうです。

昔は洪水から下流の安全を守ることが重要視されてきましたが、現在は安全を守りつつ環境にも配慮した治水が試行されています。以前は非洪水期の基準水位+0.3mから、洪水期の基準水位マイナス0.2メートルまで一気に50センチ水位を下げていましたが、この時期に産卵するコイ科魚類への影響を軽減するため、緩やかに水位が低下するような操作を行っています。

現在、琵琶湖周辺の洪水被害軽減や、宇治川と淀川の洪水調節能力を増強するため、下流にある天ヶ瀬ダムの再開発事業が実施されています。天ヶ瀬ダムの左岸側に、トンネル式の放流設備を新たに建設することで、現在の放流能力を高めます。



瀬田川の治水の歴史を紹介する展示コーナー



施設の玄関前にある旧洗堰。月2回程度カフェが開催されています。

強風体験コーナー

風速10メートルから32メートルの風を体験できるコーナー。飛ばされそうなものはずし、目を守るゴーグルを着けて、正面から吹き付ける風に備えます。風速20メートルを超えると、手摺を持たずに立っていることができないほどで、強風時に屋外にいることの危険性を実感しました。

強風体験コーナー
ゴーグルを着けて次第に強くなる風を体験



映像体験コーナー

京都の災害の歴史について紹介する映像を鑑賞しました。京都市防災協会の柴田利尚事業課長からは、「自らが身を持って体験してもらうことで防災意識を高め、今後の防災対策に取り組みきかけにしてほしい」というお話がありました。



映像体験コーナー
ハイビジョン映像で京都の災害の歴史を紹介する映像体験コーナー

地震体験コーナー

阪神・淡路大震災と同じ震度7の激しい横揺れの中、まずはテーブルの下に入って身の安全を確保、揺れがおさまっている間に、ストーブなどの火を消し、出口を確保するという訓練を体験しました。



地震体験コーナー
キッチンを想定した地震体験コーナー

3月に3階部分がリニューアルされ、4Dシニアター迫りくる地下街の恐怖、などの「都市型水害体験コーナー」や、地震発生から避難所までの行動を体感できる「防災行動体験コーナー」、さらに子ども向けコーナーとして「キッズ・ファイヤーランド」が新設されました。家庭や職場で防災について話し合い、いざという時に落ち着いて行動できるようにしておくことが大切。ここの体験は災害への備えについて考える時、とても役立つのではないのでしょうか。

都市型水害体験コーナー



迫りくる水の恐怖、どうしたら無事に脱出できるのか?

アンダーバスに大雨が…。車からの脱出、歩道の危険、落ち着いて対処できるか?



キッズ・ファイヤーランド



みんなで家の中にひそむ「火事のたまご」をやっつけよう!



ディスプレイの前でポーズを決めると、いろんな消防士に変身!

株式会社みらいもりやま21

市民、事業者、行政の架け橋となって
まちの活性化、にぎわい創出をサポート



株式会社みらいもりやま21
滋賀県守山市守山一丁目8-7
☎ 077-514-8321
http://moriyama21.jp/

チカ守山のオープン式典で挨拶する清原健社長



中心市街地活性化交流プラザ「あまが池プラザ」



中山道沿いにある旧酒蔵を改装した守山宿町家「うの家」

法人や個人から出資を募り、当時守山商工会議所副会長だった清原健氏が社長に就任し、守山市の夢を託された会社として、中心市街地の活気作りやイベントの企画、市外からの店舗の誘致、情報発信などに取り組

2月14日、JR守山駅西口直結ビル「セルパ守山」の地下に「チカ守山」がオープンしました。中心となる施設は、「民間公民館」という位置づけで会議やカルチャースクール、カラオケパーティーなど多目的に利用できる「シダックスカルチャーコート」。他に子育て交流ゾーンやカフェ、農産物販売所、コンビニエンスストア、イベントなどにも活用できる。パブリックスペースが整備されています。

2002年に平和堂が撤退して以来、使われていなかった地下スペースを活用するため、守山市が公募を実施。経済産業省の中心市街地魅力発掘・創造支援事業費補助金を活用して、みらいもりやま21とシダックスグループが連携してプロデュース・運営を行うことになりました。

みらいもりやま21は、JR守山駅周辺の活性化を図るハードソフト両面からの牽引役として、平成20年9月に創立された「まちづくり会社」です。

ンして、指定管理者として2つの拠点施設を運営することで会社の経営基盤をより確かなものにしました。

また、中心市街地のにぎわい創出と回遊性の向上を目的に、商工会議所、市内事業者らと「100円商店街」や「もりやまバル」「ま



にぎわい創出と回遊性の向上を目的に開催された「守山バル」

化につながる」と指摘します。

そして、「これまでやってきて、本当に守山のことが好きという市民が多いことを実感してもらえような会社にしてほしい」ということで、取材を締めくくりました。

「小規模連鎖」を継続的に続けていくことが、真の活性化につながる」と指摘します。

そして、「これまでやってきて、本当に守山のことが好きという市民が多いことを実感してもらえような会社にしてほしい」ということで、取材を締めくくりました。

「ちゼミ」といったイベントを、県内でいち早く仕掛けてきました。

まちづくり会社にとって大切なことはいいスタンプに恵まれること。行政からの出向では2、3年で交代することになります。同社の社員は、公募にて一般からの若手の起用を行いました。若手社員の情熱とパワーに押されるような形でまちづくりのアイデアが出てきています。その一方で、守山市や商工会議所との情報共有や意思疎通が、取り組みをスムーズに進めていくうえで欠かせないと、連携を密に保つことに努めてきました。

新拠点となるチカ守山どうの家、あまが池プラザの3拠点をつないで、回遊性をもたせたイベントなどを企画するほか、今後は市民や事業者が主体となつて行う取り組みについても積極的にサポートしていきたいという同社。清原社長は「大規模なイベントではなく、まちのどこかで毎日何かがあり、小さな何かがつながってそれが連鎖的にまちのにぎわいを生み出していく「小規模連鎖」を継続的に続けていくことが、真の活性化につながる」と指摘します。

夢 Interview

地域とともに歩み 滋賀を元気にするチームを目指して



日本フットボールリーグ（JFL）に所属し、草津市と東近江市をホームタウンとするクラブチーム「MIOびわこ滋賀」。平成18年の誕生から2年後には滋賀県代表として天皇杯全日本選手権大会に出場し、同年、全国社会人サッカー選手権大会で初優勝しました。クラブを立ち上げ、経営を担ってきた権田五仁さんに、サッカーにかける思いや、今後の目標、夢についてうかがいました

●サッカーチームをつくらうと思われたきっかけは？

JFC（日本の青年会議所）でまちづくりや地域の活性化の運動に取り組んだのですが、その経験を活かして滋賀のために何かできないかという思いがありました。私自身も学生時代にサッカーをやっていたことから、サッカーを通してまちづくりや青少年の育成を目指し、県民のみなさんに楽しみや夢を持っていただけないかという思いを託してクラブを立ち上げました。

●サッカーをにぎわい創出や経済の活性化に貢献できるチームをつくらう。

チームが大きな存在になり、観客をたくさん動員できるようにすることで、さまざまな経済波及効果が生まれ、まちの活性化に貢献できるようにします。

●社会貢献にもたいへん力を入れておられるとのことですが…

滋賀のチームということで、環境と福祉をキーワードにさまざまな取り組みを行っています。例えば、アルミ缶や古紙、古着などを集めて試合を観に来られると観覧料が無料になる日を設けたり、障害者のサッカーチームの指導や支援を行っています。また公式戦の前に障害者チームの試合を入れたり、障害者団体に運営のサポートをお願いするなど、スタジアムのバリアフリー化にも取り組んでいます。もちろん、サッカー教室の開催や地元チームの指導のほか、県内の小学校に出向いての授

業も行っています。

●サッカーを楽しむだけでなく、エコやノーマライゼーションへの関心も高まる仕掛けですね。

これはJFCの活動手法からきていることで、単にリーグを目指すだけでなく、環境や福祉に関する社会活動を行うことで、こつこつ取り組みに関心を持つ市民を取り込んでいくことができます。市民のみなさんとどれだけ一緒になつてチームづくりができるかが、非常に重要なポイントになると思います。

●クラブの安定的な運営にはスポンサー確保が課題になると思いますが…

一つのビッグスポンサーに頼ると、そこが撤退した時にクラブの基盤がぐらつきますので、できるだけたくさんの方の県内企業さん、県民のみなさんがスポンサーとなって応援し、支えてくださるよう働きかけをしています。

また、行政との連携にも力を入れてきました。幸いなことに県からも支援をいただき、一昨年末では二ホームの胸に「滋賀県」という文字を付けてプレイしました。今年からは「東近江市」になります。現在、ホームタウンは草津市と東近江市ですが、他の市町にも支援をお願いしていきたいと考えています。

●スタジアムの建設にも熱心に取り組んでおられますね



権田五仁さん

○ごんだ こうじん
株式会社 Mi-O スポーツ /
MIOびわこ滋賀 代表取締役

今、県内にはJ1やJ2の試合を開催できるスタジアムがありません。1〜2万人が収容できるようなスタジアムを滋賀に建設しよう、これまでもさまざまな活動を行ってきた。建設が決まれば地域の産業界にも多くの経済効果をもたらすことが期待できます。

●目指しておられるのはどのようなチームですか？

サッカーをやっている子どもたちが大人になった時に、MIOびわこ滋賀で活躍したいと思ってもらえるチームにしたいですね。

それと、例えて言うならクリスマスのようなチームです。クリスマスが近づくと街にはイルミネーションが輝き、どの家庭もなんとなくウキウキと楽しい雰囲気になりますよね。シーズンが近づくとウキウキして、家族の間でしよちゅう話題にしてもらえよう、県民のみなさんから気にかけてもらえるようなチームにしたいと思っています。

大津市 / 京都市

ノルディック・ウォークで
大文字山トレッキング

取材協力 / おごと温泉観光協会

スタート



この日は生憎の雨でしたが雨具を着込んで、ポールの長さを自分の身長に合わせた後、トレッキングに出発しました。

百穴古墳群



右手に少し入ったところにある「百穴古墳群」では、ドーム状の横穴式石室のある円墳が60数基、確認されています。渡来人を埋葬するために、6世紀から7世紀初めに造られたとされています。

今回歩いたコース



崇福寺跡

南志賀町から大津山中町を経て京の七口(京都につながる街道の代表的な出入口)の一つ荒神口に至る古道「志賀越道(旧山中越え)」を通過して志賀峠へと向かいます。志賀越道沿いの山中には、天智天皇が大津京の鎮護のために建立した崇福寺がありましたが、今は礎石だけが残っていて、金堂跡には「崇福寺跡」という碑が立てられています。

志賀の大仏



おごとん



鎌倉時代の作とされる石造阿彌陀如来坐像(志賀の大仏(おおぼとけ))は、志賀越の道中安全を見守る道祖神。ここで、おごと温泉のキャラクター「おごとん」が一行を出迎えてくれました。

池の谷薬草園



比叡山ドライブウェイの下をくぐって「ふれあいのもり」へ。よく整備された散策道が広がっていて、シーズンにはアジサイやヤマブキ、ヤマツツジなどの花木植物を楽しむことができます。

ふれあいのもり



池の谷地藏尊



ドライブウェイ料金所から、比叡平の住宅街を通過して池の谷地藏尊へ。自然をそのまま残した6,000坪の境内には薬草の小径が設けられていて、約600種の薬草や薬樹のほか、四季を通じてさまざまな花を楽しむことができます。薬草園は4月初旬から9月まで開園、開園時間は午前10時から午後4時まで。入園料は無料です。池の谷薬草園 <http://www.2u.biglobe.ne.jp/~plants/>



- 京阪滋賀里駅
- 志賀の大仏
- 志賀峠
- ふれあいのもり
- 比叡平
- 池の谷地藏尊
- 大文字山
- 毘沙門堂
- JR山科駅 (全行程17km)

ゴール!



春はシダレザクラ、秋は紅葉の名所、天台宗の門跡寺院「毘沙門堂」の前を通過して山科の市街地を目指しました。

おごと温泉の “アクティブヘルスツーリズム”

おごと温泉観光協会では、美運・美浴・美食でお客をおもてなしする“アクティブヘルスツーリズム”に、自然豊かな周辺の里山や棚田をノルディック・ウォークでめぐるプログラムを提供しています。ノルディックウォークインストラクターと一緒に、おごと温泉界隈のパワースポットをまわる約90分のコースです。
 ※おごと温泉観光公園へ集合。スタート14:00～
 ※ポールは貸し出し致します。※2名から開催
 参加費用: 500円(税別)
 お問い合わせ/おごと温泉観光協会 大津市雄琴6丁目-5-1
 TEL/077-578-1650
 URL www.ogotoonsen.com



ノルディック・ウォーク(ノルディック・ウォーキング、ポール・ウォーキングなどとも呼ばれる)は、1930年代にフィンランドのクロスカントリー選手の間で、トレーニングのために考案されたもので、2本のポールを使って歩くのが特徴です。ただ歩くのではなく、ポールを使うことで身体全体の90パーセントの筋肉を活用する全身運動となることから高い運動効果が期待できるうえ、子どもから高齢者まで手軽にできるフィットネスエクササイズとして世界中で人気が高まっています。
 今回は滋賀県建設業協会広報委員会のメンバーが、ノルディック・ウォークでトレッキングに挑戦しました。

大文字山山頂



火床から





コンクリートのおはなし Vol.2

【コンクリート診断士】
株式会社 明豊建設 鈴川 一行

コンクリートの基礎知識やおもしろ雑学がテーマの「コンクリートのおはなし」。
第2回目はコンクリートの劣化と補修についてコンクリート診断士がレクチャーします。

コンクリートの50年問題

平成24年12月2日、中央自動車道より線世子トンネルで天井のコンクリート版が落下し、人命が失われるという痛ましい事故が発生しました。この事故を発端とし、トンネルや橋梁といったインフラ構造物の老朽化がメディアでも取り上げられました。
コンクリートの寿命は一般的に100年とも200年とも言われていますが、高度成長期に作られたインフラ構造物の寿命は50年程度だと言われています。なぜ、ここに差が生まれるのでしょうか。

コンクリートはなぜ劣化するの?

インフラ構造物の劣化「剝離剝落」は「ひび割れ」から始まり、ひび割れは大雑把に①荷重や温度変化による変形と、②内部膨張による破壊の2つの要因で発生します。

①の温度変化ですが、コンクリートは1℃熱くすると10mmで0.1mm伸びます。20m程度の橋でも夏場(30℃)と冬場(10℃)では4mmの差が表れます。この伸び縮みが繰り返されると、ひび割れが大きくなります。

②の内部膨張とは鉄筋の腐食によるひび割れです。コンクリートは重さに耐える力は強いのですが、曲げると簡単に折れる物質です。そこで、鉄筋を埋め込んで曲げに弱いコンクリートを補強しています。

また、錆びは水と酸素の供給で起こりますが、鉄はコンクリート内のような強いアルカリ環境に置かれると、自分で錆を防止する膜を作ります。鉄筋コンクリートとは、コンクリートと鉄、お互いの弱点を補つて石工の構造なのです。

ところが、空気中の二酸化炭素は、コンクリート内部のアルカリ成分と結合してコンクリートを中性にしてしまったため、錆を防止する膜を破壊します。

塩分も大敵で、コンクリートにしみ込んだ塩分は錆を防止する膜を直接攻撃して孔をあけます。海沿いだけでなく凍結防止剤をたくさん散布する地域は

が人に危害を加える危険性が発生してしまいます。機能は失っていきなくても、安全なインフラとは呼べません。

コンクリートの50年問題、それはトンネルや橋が崩壊するような大きな事故を指すのではなく、インフラ構造物の安全性が失われることを危惧しているのです。

なぜ「50年前」なのか?

なぜ、なぜ50年前のコンクリートが問題視されているのでしょうか。日本では、昭和20年代から50年代の高度成長期に多くのインフラ構造物が建造されています。

長さ16m以上の橋梁を例に挙げると、昭和20年以前には年間200橋程度の建造数だったものが、昭和25年以降は年間1000橋のペースとなり、ピークである昭和50年頃には年間4000橋のペースで建造されました。

現在では当たり前のように使われている「生コン



京都市内 鴨川の橋梁底面 (写真左)
白華現象(石灰のつらら)も確認でき、ひび割れが貫通していると予想。鉄筋がある部分は剝離が起き、ない部分は石灰のつららが発生している。ひび割れ先行型。



湖南省内 歩行者用トンネル (写真左)

周辺に異常は見られないが、内部鉄筋が錆びて錆汁が出てきている。被覆圧が薄いのか、腐食し始めた鉄筋を使ってしまったか。ひび割れよりも鉄筋腐食が先行した例。



京都市内 地下駐車場 (写真右)
天井の梁に荷重でのひび割れが発生し、そこから鉄筋が腐食した。曲げへの抵抗性がなくなっており、非常に深刻な状況。どちらが先行しているかは判断が難しい。



京都市内 地下駐車場 (写真左)
地盤沈下により壁に斜めの亀裂が走っている。規模は大きく見えないが、さほど危険性はない。地下深くの土圧・水圧に耐えるために部材圧が大きく、自重で抵抗する構造。



甲賀市内 橋梁底面 (写真下)

繰り返し荷重によって発生したひび割れから水などが侵入し、鉄筋を広く腐食させた。ここまですると、曲げに耐えられないので鉄筋の差し替えが必要。鉄筋を覆うコンクリートの厚みも小さいように見える。ひび割れ先行型。



甲賀市内 橋梁底面 (写真上)

中央に見える内部鉄筋の腐食により、円錐状にコンクリートが剝落している。鉄筋を覆うコンクリートの厚みが足らなかったことに起因する。鉄筋腐食先行型。



京都市内 鴨川の橋梁底面 (写真上・左)

鉄筋が表面に近くなりやすい交差した部分から腐食が始まった例。被覆するコンクリートが薄いほどひび割れも発生しやすく、劣化も早い。ひび割れ先行型。



ですが、日本で最初の生コン工場は昭和24年11月に生まれています。それまでのコンクリート構造物は中世・近世の構造物に代表されるように、砂利や砂・セメントを詰め込んだ型枠に水を撒きながら樽のような大きな槌で叩き込む方式で作られるが、現場で材料を練り混ぜて人力で型枠に流し込む方式が採用されていました。

これらの方式は、大きな壁を持つ重力式構造物には適していますが、壁が厚くなるので大規模にならざるを得ないだけでなく、多くの工期・人員を必要としていました。

しかし、当時はまだ鉄筋コンクリート構造も誕生したばかりの技術で、劣化について知られていなかったため、鉄筋を保護するコンクリートの厚みが現在よりもかなり薄くなっています。水や空気の侵入を防ぐための対策もほとんどありませんでした。

また、高度成長期以降、建設関連予算の縮小に伴って、補修・点検がおろそかになったかもしれません。100年経っても、決して崩れ落ちることがないインフラ構造物。その偉大さ・安定感が仇となり、表面で起こる小さな、しかし重大な劣化が見逃されてきたのではないのでしょうか。

人々の安全を確保するために

鉄筋コンクリート構造では、「鉄筋をいかにして守れるか」がカギになります。鉄筋が錆びてしまった構造物に対しては、劣化したコンクリートを取り除き、鉄筋の錆を除去してから新たなコンクリートで保護しなおす方法が最も単純で効果的です。

軽微な場合は表面に薬剤や塗料を塗って水や空気の侵入を防ぐだけでOKです。最近ではコンクリート内部まで浸透して鉄筋付近まで到達し、錆を防止す

特に危険です。コンクリート内の鉄筋が錆びて膨張すると、内から外に向けたひび割れが発生させてしまいます。

コンクリートは、温度変化・雨や風・二酸化炭素・凍結防止剤という当たり前に存在するものによってゆっくりと着実に劣化するので。

劣化する何が起るの?

ダムや擁壁などの無筋コンクリートの土木構造物は、その重量で流れ出てしまうものを押しとどめることを役割にしています。500tの水を溜めるダムなら、ダムの重量を500t以上にすればダムが動かないので水が溜められます。

これらの構造物の場合、多少のひび割れは全く影響しません。真二つに割れてしまうようなひび割れでは構造物が崩壊してしまいますが、変形や内部膨張では100年経っても200年経っても、まず部材を貫通するようなひび割れは発生しません。

コンクリートの耐久性は厚みに比例すると言われており、重力式構造物は中世や近世に作られた歴史的建造物と同じく「強くなるなら厚くすればいい」という方針で建造されているからです。

深刻なのは鉄筋コンクリートの構造物で、トンネルやコンクリート橋、水道設備やコンクリート製の建物など、高度成長期に建造されたほとんどの構造物が鉄筋コンクリート製です。

まず発生するのが温度変化や乾燥収縮によるひび割れです。それ自体はトンネルや橋の強度に影響を及ぼさないので、ひび割れによって二酸化炭素や水、塩分が奥まで侵入しやすくなります。

次に起こるのが中性化や塩害で、20年位で表面近くにある鉄筋の深さまで到達してしまいます。こうなると表面近くの鉄筋が腐食し、厚み10mm以下の表層コンクリートが剝離・剝落し始めます。

この時点ではトンネルや橋の機能は十分に保たれています。落下したコンクリート片が車や電車に当たる事故や、笹子トンネル事故のような付帯設備

る膜を再生させる薬剤まであります。電気防食工法や電気化学的補修工法では、コンクリート内部の鉄筋に電極を取り付けて、錆が発生する際の電流と逆の電流を流して錆の進行を止めたり、コンクリート内部の悪い成分を取り出し、良い成分を強制浸透させて鉄筋を触ることなく補修します。

すでに多くの土木構造物で使用されている高炉スラグは、コンクリートが固まる時に発生する熱を抑えてひび割れを抑制するほか、潜在水硬性という性質で塩分や空気の侵入を防ぐことができます。また、火力発電所から発生する灰、フライアッシュを使ったコンクリートも実用化が広がっています。こちらはボロン反応という性質で塩分や空気をシャットダウンすることが可能で、長期的な強度増進が大きく、100年でも劣化しないと言われています。

今後、火力発電所の稼働によって大量に発生する産業廃棄物を再利用できるので、環境配慮の面でも期待されています。設計の段階からの見直しも重要で、構造強度や耐震強度のみに着目するのではなく耐久性や施工のし易さに配慮した設計で、緻密かつ高品質なコンクリートにするための基準に変えていく必要があると考えます。

私見ですが、現在の基準は強度に重点を置くあまり過密鉄筋になりすぎて、施工不良が発生しやすくなり、コンクリート厚の確保が困難になっている印象を受けます。構造物が必要とする強度を短い工期内に確保するための努力や改良を重ねたおかげで、高度成長期に作られた構造物の多くは根本的な強度欠陥もなく、表面劣化の補修によってこれからも使い続けることができます。「維持費のかかる負の遺産」などと呼ばず、「50年も補修なしで耐えた屈強な財産」と捉えて、長く大切に使うべきではないでしょうか。

数が多いとは言えその多くは小規模工事で済むのですから、コソコソと補修を重ねて次の世代に引き継ぐことが我々の責務だと思います。

環境への配慮、地域社会との共生を掲げ 人と自然にやさしい工事に取り組む

丸橋建設株式会社

彦根市高宮町 代表取締役 丸橋 豊



ISO14001のプレートが掲げられた社内

平成14年にISO14001を 認証取得

昭和41年に知事登録事業者となり、52年に会社組織となった丸橋建設。先代社長は、「若い人材がリーダーシップを発揮しないと、変化の激しい時代を乗り切っていくことはできない」と60歳で第二線を退き、平成12年に2代目の丸橋豊氏が代表取締役に就任しました。「社長就任を機に、自分の思ったとおり責任を持って会社を運営していくようにと言われた」と語る丸橋社長。これからの建設業は環境への配慮、地域社会との共生という視点が不可欠になると思い、環境カウンセラーの今村忠彦氏のアドバイスを受けて、県内の建設業者としていち早く平成14年5月にISO14001を認証取得しました。「取得に向けての準備はたいへんだったが、社内チームを立ち上げて取り組んだことで、全社員の環境への意識が高まっただけでなく、社内コミュニケーションが円滑になり、活発に意見を言い合えるようになった」と評価します。

CESAプログラム 第1号を実施

今村氏が専務理事を務めるNPO法人CESA（循環型社会形成促進協議会）にも、平成16年の発足当時より参加し、さまざまな企業や団体との交流を通じて、環境に配慮した工事や企業活動に取り組んできた同社。CESAプログラム（人と環境にやさしい工事のための安全と環境プログラム）の第1号となった「里親になって多賀の道ばた植物を残そう」という取り組みを、多賀永源寺線単独道路改良工事で実施することになりました。工事予定現場の里山に自生する植物を巨植えかえて、工事終了後に町民に里親になってもらう植え戻しというプロジェクトで、町民との交流を通じて、公共工事の目的や自然に配慮した施工に取り組んでいることをアピールすることに努めました。この取り組みの経緯や成果について、現場監督を務めた古川部長代理が、長浜曳山会館ホールで報告したほか、平成15年に開催され



滋賀県発注の祇園八幡中山線道路補修工事

た世界水フォーラムでは、北田也専務が「里山に関する環境問題」として発表しました。同社はその後も「豊郷発見、水の香る郷」「沢」道づくりや「長い橋のためと、大きいくなれ、みんなの木」といったCESAプログラムを実施してきました。また、現場、現場で「材料を必要以上に使わない」「できるだけ再利用を試みる」といった目標を設定して、工事に取り組むほか、現場や社屋周辺の環境美化、清掃活動にも積極的に取り組み、滋賀県建設産業界連合会の現場環境美化コンクールでは、毎回優秀賞を獲得しています。

より働きやすい職場づくりを 目指す

新しい技術や工法の導入にも熱心に取り組む「地域とのつながりを大切にして、企業としてできることがあれば協力していきたい」という同社では、昨年10月に丸橋社長はじめ社員やその家族14名が、企業として唯一、豊郷町民健康フェスティバル2013の3時間耐久マラソンに出場し、敢闘賞を獲得しました。ますます厳しさを増す建設業界で生き残っていくためには、人材育成が最重要課題になりますが、同社には20代から40代の社員が7名在籍し、中核社員が若手の指導に当たり、相互に協力しながら複数の現場の仕事を進めています。丸橋社長自ら現場で社員とともに働き、社員がやり甲斐を持って働けるよう目配りするほか、滋賀県ワーク・ライフ・バランス推進企業に登録して、ノー残業デーの設定や、男性社員の育児休暇取得促進などを目標に掲げて、より働きやすい職場づくりに取り組



3時間耐久マラソンに出場した丸橋社長と社員、ご家族のみなさん



彦根駅前広場(古沢安清線駅前広場)整備工事



平成15年に稲枝線単独工事で実施した「豊郷発見、水の香る郷『沢』道づくり」



平成14年に多賀永源寺線単独道路改良工事で実施したCESAプログラム「里親になって多賀の道ばた植物を残そう」



第1回 『夢けんプラザ絵画コンクール』

滋賀県建設業協会では、次世代を担う子供達に建設産業の魅力発信事業として、『夢けんプラザ絵画コンクール』を実施いたしました。安全・安心で快適な生活を送るためのインフラの整備や街の豊かな環境の整備など、多くの事業を建設業が担っていることや、その役割の大切さ、頼もしさを見聞かしてもらい、子供達の豊かな感性や観察力、創造力を育み、街づくりやその事業に関心を向けてもらうことを目的に開催された、県内の小中学生を対象とした絵画コンクールです。

審査員/成安造形大学 講師 宇野 君平
建設現場の絵画コンクールという、とてもユニークな企画に参加させていただきました。応募作品には、夢の建設車両や未来の都市の様子が描かれ、その表現の豊かさに審査の現場も盛り上がりました。情報産業が注目される一方で、ものづくりの現場が軽視される状況は、芸術の世界も同じです。小さな画面に夢になる時代、建設現場というダイナミックな題材は、大きなスケール感と豊かな創造力を育む、貴重な造形教育の現場だと感じました。



テーマ

「工事ではたらく機械」
「道路やビルなどの工事のようす」

日常にある建設機械やあったらいいなと思う機械
住んでいるまちの道路、橋、ダムやビルなどの工事現場の様子
あるいは未来の都市

最優秀賞



「いっぱいはたらくブルドーザー」
赤尾 芹奈
ダイナミックな構図と鮮やかな色彩が美しい。ウイーン、ドシャーン、ゴロゴロ、現場の音が聞こえてくる、ステキな作品です。

優秀賞



「こんなきかいがあったらいいな にじ色車」
田中 麻希
おしゃれなユニック車が丁寧に描かれています。未来の建設現場は、エレガントですね。



「なんでもたいらにするロードローラー」
吉富 晴心
どっしりとしたロードローラーの重量感が、しっかり表現されています。



「大きなショベルカー」
伊吹 穂
ショベルカーの格好良さが伝わってきます。キャタピラやアームの油圧がよく描かれています。



「ブルドーザー」
中庄 泰智
黒の背景に銀の線描、鮮やかな色彩。これはアートです。



「今日もはたらくミキサー車」
大前 陽菜乃
生コン車のクルクル回るタンクなど、観察力がすばらしい。



「かっこいいなパワーショベル」
西村 ひなた
縦の構図と大きく伸びたアームが、パワーショベルの臨場感を上手く表現しています。



「いろいろ交代ウルトラカー」
清水 大樹
アームの先がチェンジする万能メカ。カラフルでステキですね。でも操縦は難しそう。

優秀賞



「タイヤショベル」
上田 彩加
ホイローローダーの細部や背景の様子まで、対象を丁寧に描く誠実な姿勢に共感しました。作業員が帰った後の現場でしょうか。重機に哀愁を感じます。



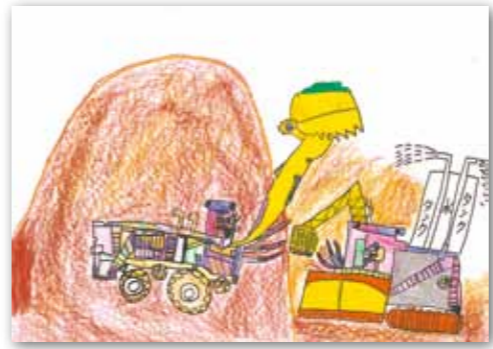
「未来都市の開発が進む」
市川 理那
タブレット端末で操縦するパワーショベルが印象的な、おもしろい作品です。

「僕らが見た電波塔」
茂山 咲也香
童の顔をイメージした電波塔は、その有機的なデザインが現代的です。緩やかな飛び出すユニークな看板もリアリティーがあります。



「工事中の町」
居松 真由
背景の建物や重機が働く様子が、とてもポップに描かれています。CGやゲームの世界を感じさせる作品です。

優秀賞



「こんなきかいがあったらいいな」
田中 健介
「何の工事をしているのかな?」「どんな機能があるのかな?」細部まで描かれた不思議な機械がとても魅力的です。

優秀賞



「こうじげんばのようす」
野口 絆
重機たちがはたらく様子が、まるでジュラシックパークみたいで楽しい作品です。



仕事の達人、遊びの達人 私のオフタイム

効率のよいトレーニングを工夫 マネジメント力も問われるトライアスロン

株式会社萩原建設 萩原 英樹

もともとスポーツが好きで、長くテニスをやっていたのですが、30歳くらいからマウンテンバイクやロードバイクに乗り始めて、ヒルクライムと呼ばれる山を上り下りするレースなどにも出場するようになった。

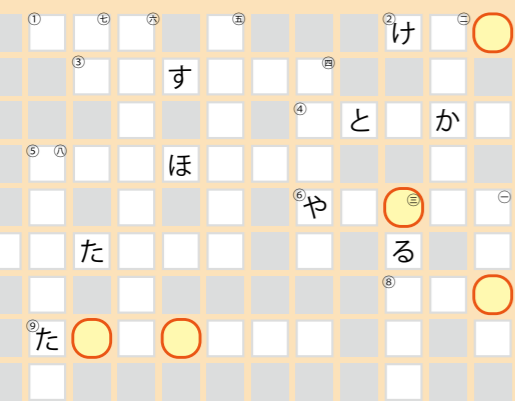
トライアスロンを始めたのは1年半くらい前から。走るのも好きで、地元のマラソン大会などにも出ているので、「後は泳ぐだけ」と思うとチャレンジしてみたくまりました。



トライアスロンは水泳・自転車ロードレース・長距離走（スイム・バイク・ラン）を連続して行う耐久競技で、競技会に多い「オリンピック・デスタンス」のレースは、スイム1.5km・バイク40km・ラン10kmの合計51.5kmの距離で行われます。



普段は、朝と夜の時間をを使って、走り、プールで泳いだり、マシンを使ってトレーニングしています。できるだけ効率よく練習できるように、自転車のペダル回転数や心拍数などを数値化



1. 内臓肥満症候群を短く言うこと
2. 変事に備えて防備すること
3. 強風や豪雨による災害
4. 正式なダンスパーティー
5. 火災の発生を知らせる装置
6. 背中に針状の剛毛のある動物
7. 中国四川地方の辛い麺料理
8. イエスキリストのお母さん
9. ビルの建設現場などで使われる塔型クレーン



クロスワードパズルを完成させて、○の文字を組み合わせてください。
ヒント 特集「話題の焦点」

- 一. 木材を食べて家屋などに害を与える昆虫
- 二. 武蔵野市と三鷹市にまたがる○○○○公園
- 三. 別名、よろいねずみ
- 四. 滋賀県最高峰の山
- 五. メールなどをもう一度送ること
- 六. 今号の話題の焦点で訪ねた京都市の施設
- 七. たくましいこと
- 八. 火山のある地域

縁の下の力持ちとして より良いものづくりを支えたい

株式会社 笹川組
総務部総務課 多賀野 博さん [平成24年入社]



県外で内定をいただいている会社もあったのですが、大学の4年間お世話になった滋賀県で働きたい、地域の発展に貢献したいという強い思いを抱くようになり、もう一度就職活動をやり直すことを決意しました。

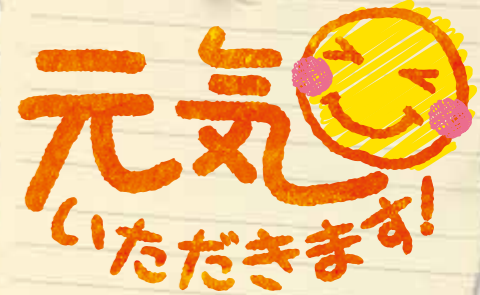
そして、滋賀県の発展に最も貢献できるのは建設業ではないかと考えて、この会社を受験しました。ちょうどその年に起こった東北の震災で、災害復旧や暮らしの再建に建設業が大きな役割を果たしたことも、建設業で働きたいという思いを後押ししてくれました。

メイン業務である建設工事を支える裏方として、さまざまな書類を作成していますが、ミスのないよう、特に社外への提出書類は何度もチェックを行っています。今は建設業経理士2級の資格取得に向けて勉強中ですが、いずれは1級を、その他にも宅建資格や施工管理技士など仕事に役立つ資格取得にチャレンジしたいと思います。

当社が手がけた商業施設や銀行を訪れて、買い物客でにぎわっているようすや、行員の方々が活き活き動いているようすを目にすると、良い仕事ができたと誇らしく思います。

学生時代を通じて野球に打ち込み、大学ではスポーツ社会学を学びました。大学に入ってからには県内のクラブチームでコーチとして子どもたちを指導し、今でも休日のほとんどを野球の指導に当てています。

野球の経験や大学で学んだコミュニティマネジメントを活かして、現場で働くみなさんが円滑に工事を進めて、より良いものづくりができるよう、縁の下の力持ちとして支えていきたいと思っています。



建設産業人材確保・育成推進協議会では「私たちの主張」として、平成20年から毎年、建設業で働く若者たちのメッセージを募集しています。昨年の「私たちの主張」に応募した多賀野博さんと石田光さんに、日々の仕事や将来の夢についてうかがいました。



建設界野球大会で好投する多賀野さん

頑張れば達成感も大きい 建設業の仕事

株式会社 桑原組
土木部 石田 光さん [平成24年入社]



祖父も父も建設関係で仕事をしてきましたので、大学進学の際、自然に土木系を選択していました。この世界で働き始めた頃は右も左もわからない状態でしたが、新たにものを創る楽しさと、それに伴う責任のある仕事という、他の業種では体験できない経験を数多くさせてもらいました。

施工管理の仕事は現場ごとに工事の種類が違ったり、現場の条件や施工の方法が違ってだけでなく、様々な業種の人たちが大勢仕事をしているので、それを取りまとめていくには豊富な経験と知識が必要とされます。学校で習うことより一日一日の積み重ねがキャリアになるということを実感しています。

将来の夢は現場を任されて、地図に残るような構造物を造りたいということ。頑張れば頑張っただけのものができて、達成感も大きいのがこの仕事の魅力です。土木施工管理技士2級に受かりましたので、次は火災類取扱保安責任者取得を目指したいと思っています。

昨年の台風18号の豪雨で決壊した河川にもいち早く駆けつけましたが、被害の大きさに圧倒されながらも、先輩技術者と力を合わせて復旧工事に取り組みました。

確かに現場監督の仕事は覚えることも多いですが、時には失敗しながら経験や知識を蓄積して一人前になっていくのは、どんな仕事でも同じだと思います。

私の場合、何でも気軽に相談し合える、同期入社の人たちがいることがとても励みになっています。お互い切磋琢磨していける仲間がいることで、モチベーションも上がるし、困難なことにもぶつかっても乗り越えていけると感じています。



入社後4カ所目となる高島市内の現場で

前号の答え
『あんぜん』第一

パズル&クイズ当選者

- 福永 愛子 さん
- 算 敏弘 さん
- 久木 實 さん
- 田附 弘明 さん
- 伴 光藏 さん
- 東 やよい さん
- 天谷 ゆか さん
- 藤原基四郎 さん
- 折戸 一乃 さん
- 居原田晃嘉 さん

応募方法

- P&Q及びアンケート(返信用添付ハガキ)の両方にお答えいただいた方の中から抽選により粗品を進呈します。ふるって応募ください。
- 別のハガキにて応募の方も住所、勤務先(学校名)、氏名及びP&Qの答え、アンケート、メッセージ等を書いて送付してください。
- 締め切り
平成26年6月20日必着
- あて先
〒520-0801
大津市におの浜一丁目1-18
(一社)滋賀県建設業協会 広報委員会

季刊夢けんせつ春号
◆
2014年(平成26年)4月10日
通巻第656号
発行 (一社)滋賀県建設業協会
〒520-0801 大津市におの浜一丁目1-18
TEL.077-522-3232(代)
FAX.077-522-7743
http://www.yumeken.or.jp
企画編集 広報委員会
協力・印刷 宮川印刷株式会社



素材の劣化で靴底が取れてしまったシューズ

「降水確率90%」という生憎の天気にも屈せず決行となり、意気揚々と夢けんプラザから最寄り駅に向かつて歩き始めた途端、とある委員さんのウォーキングシューズが崩壊するというアクシデントが。朝早くからお店も開いてないしどうするのかと気をもみましたが、さすがに業界人！作業服・作業用品の大型専門店が開いているというところがわかり、無事新しいシューズを購入することができました。そして、おごと温泉のキャラクタール、おごとものお見送りもあり、時折バ

取材ほれ話

広報誌「夢けんせつ」では、広報委員のみならずに見て聞いて、体験して」をモットーに、特集などの記事を企画しています。今号では究極の体験取材とも言える、ノルディックウォークで大文字山登山」というアクティブな企画を催行しました。



おごとと記念撮影

ヤンマーミュージアムには一度行ってみたいと思っていたので参考になりました。(丹治徳彦さん)

「仕事の達人・遊びの達人」を読んで、仕事のできる人は遊びもうまくて憧れを感じます。(奥野仁史さん)

奥伊吹の新しい里おこしのイベントを知り、次回のイベントに出かけてみたいと思います。(久木實さん)

フォトコンテストは、日頃「こってどうやって工事したんだろ?」と思っていたものが、一目でわかる内容で感動しました。(折戸一乃さん)

VOICE 読者の声

この会報誌の題名がいいですね!“夢”がとても心に響きます。(中西光男さん)

高島市で鴨川が破堤するなど、台風18号による大きな被害が出ました。建設業の素早い対応には感謝しています。(西村忠員さん)

After Word

さて、今回も色々取材にいきまいました。アクア琵琶・京都市市民防災センターでは、豪雨体験・地震体験により、防災について改めて普段の訓練の大切さを考えさせられたり、チカ守山ではまちづくりにかける熱い想いを聞いたり、若狭屋でどっち羊羹をいただいたりしました。が、今回の我々のメインは体力勝負のノルディックウォーキングでした。普段は事務職をしているわれわれ広報委員会のメンバーにとりましては、出発前から不安いっぱいでした。当日も日頃の行いのせいかどうかあいにくの雨となり、夢けんプラザを出た途端にメンバーの靴底が外れるアクシデントが! またハイテンションに飛ばしていたメンバー(私のこと)が急な山登りで突然のテンションダウンと予想通り?のアクシデントに見舞われたりもしました。途中豪雨災害で放置されたままの現場を見たりして改めて早い復旧を願いつつ、すれ違う人もない滑る山道を膝が痛い、股関節が痛いなど歩きながら夢けんプラザに帰り着きました。最後は誰の出迎えもないなか、あいのりの用に全員横並びでゴールしました(古??)。山頂からの眺めはすっきりとはいきませんが、やりきったメンバーは皆一様にすっきりとした表情で次は三上山いやいや伊吹山やるとか広報委員ではなく同好会的にまたやろうなどと盛り上がっていました。(編集段階ですすでにそんな話もあったのかなかったのか...) 今まで色々県内の現場、業者、グルメ、観光スポット、イベントと取材がありましたが、今回のノルディックウォーキングは広報委員でなければ体験できなかったであろう奥深い取材となりました。今号をもちまして、現委員は任期を終えることとなりますが、皆を代表して宣言させていただきます。“建設業のよりよいイメージアップを目指し活動する広報委員会は今後 出を登ります!! いや広報活動に励みます!!。” 今後も 広報 夢けんせつ をよろしく願っています。



滑らかな口当たりが人気のどっちようかん

「どっちようかん」と言うと、滋賀県では小麥粉と小豆を練って竹の皮に包んで蒸し上げた和菓子が多く親しまれていますが、信楽で「どっちようかん」と言えば蒸しようかんではなく、寒天でさらし餡を固めた水ようかんのことを指します。もともと伊賀上野地方で「どっちようかん」として製造されてきたこの水ようかんを、伊賀上野から信楽に移ってきた人がこの地に伝え、広く製造されるようになったのではないかと云われ、若狭屋ではこのどっちようかんを、11月から5月の連休頃まで販売しています。以前は3月頃までしか作っていなかったのですが、もう少し延ばしてほしいという多くのファンの声に応えるかたちで製造期間が延長されたそうです。

どっちようかん(甲賀市)



牧の集落にある和菓子店「若狭屋」

若狭屋
甲賀市信楽町牧686
☎0748-83-0164



滋賀県建設業協会館の愛称「ニックネーム」とロゴが決定しました!

滋賀県建設業協会館を訪れる方々に、さらに親しみを持ってもらって利用していただけるように、昨年、愛称(ニックネーム)を募集しました。愛称は平成25年6月末に締め切り、全国より196通応募いただいた中から、厳正な審査を行い、以下の通り決定いたしました。

愛称(ニックネーム) 『夢けんプラザ』
提案者 藤澤 勲様(滋賀県)



愛称決定に伴い、インターネットサイトにおいて、「ニコマーク」を募集したところ、40件の応募があり、広報委員会にて選考の結果、「夢けんプラザ」「ニコマーク」が決定しました。

ご応募いただきました皆様、誠にありがとうございました。



一般社団法人 滋賀県建設業協会
www.yumeken.or.jp